



おにくるでつくろう はじめてのマルシェ

第4回 ・ブースを紹介してみよう
・活動を続けるために知っておきたいこと



開催概要

2025.10.4 (土)
14:00～16:00

会場

茨木市文化・子育て複合施設
おにくる7F 市民交流スペース
参加者数 14名

プログラム

1. はじめに
前回までのふりかえり
2. ブースを紹介してみよう
3. 講評
4. 活動を続けること
～「はじめてのマルシェ」から
次の一步へ
NPO法人市民ネットすいた
入江陽子さん
5. 11月24日「おにくるマルシェ」
に向けて
6. 終わりに

共同開催：

茨木市
茨木市文化・子育て複合施設おにくる（指定管理者 おにくるみらい）
茨木市市民活動センター きやばす
(指定管理者 いばらき市民活動推進ネット)

「はじめてのマルシェ」講座もいよいよ最終回！毎回ゲストの講師を迎える、皆で学びながらマルシェを少しずつ形にしてきました。今回は、今まで学んできたことをふりかえるとともに、おにくるのオープンスペースを利用する意義、活動への思いを言語化する重要性などを確認しました。

■ ブースを紹介してみよう

最終回は会場を島型にレイアウトし、実践的なプレゼン大会を行いました。3分の発表+3分の質疑応答を1セットに、順番にブース案を披露していきました。

スライドを使って発表する人、本番さながらのディスプレイを仕上げた人、活動への思いを熱く語る人、どれも力のこもった発表となりました。

聞き手は、気になったブースの発表を聞きに回ります。扱う商品やサービスの内容だけでなく「それぞれの思い」が伝わるブース作りになっているかをお客さん目線でチェック。良かった点や質問、アドバイスなどを専用のシートに書き留めていきます。それが商品を手に取ったり、熱心にプレゼンに耳を傾けたりする中、あっという間に3分が過ぎていきました。

皆さんからの意見は、マルシェ開催に向けて、自分のブースを客観的に見つめ直す貴重な材料になったようです。



■ 講演 活動を続けること～「はじめてのマルシェ」から次の一步へ



入江陽子さん

「はじめてのマルシェ」講座で学んだことは、おにくるでのマルシェ出店はもちろん、今後どんなことをしたいかを考えるきっかけにもなります。



「暮らしやすいまちは、私たちのあり方が作る」

今後の活動の続け方について、NPO法人市民ネットすいたの入江陽子さんにお話しいただきました。入江さんからは、ブース発表の講評のなかで「『人に喜んでもらいたい』と考える方は多い。『どういう状態になれば喜んでもらえたのか』を具体的に思い描くことが大切」とアドバイスがありました。

今後も活動を続けるためのポイントは
①場所②お金③仲間 の三要素。

「場所」は、活動を継続するための土台。「常設拠点・イベント出店・オンラインなど、柔軟に考えると良い」と入江さん。

「お金」も活動を続けるために「材料費・交通費だけでなく、スキルアップのための自己投資など、目に見えないコスト」も考える必要があります。

「仲間」については、一人でやるのかチームでやるのか、それぞれのメリット・デメリットも考えながら、自身の活動に合わせたスタイルを選ぶことが大切です。

■ 参加者の感想



- 講座に参加する機会をいただけて感謝しています。自分自身を深く見つめることができました。
- それぞれの思いを知って勇気をもらったり、共感したり、皆さんと交流ができました。
- マルシェ出店をチャレンジする姿を見せるというお話に感銘しました。
- 皆の熱意に感化されて「今後も続けてみよう」という気持ちになりました。



■ おわりに

最後に、きやぱすのセンター長・入交が総括をしました。「今回の講座は、行政（共創推進課）・指定管理者（SPS）・きやぱすの三者が、会議を重ね実現させた講座です。おにくるのミッション『みんなが“ここちいい”を感じられるまちに』や、ビジョンである『遊び心とチャレンジを大切に』を実現すべく、各所が全力で伴走してきました。マルシェが終わった後も、皆さんの活動を支援しますので、ぜひ活動を続けてください」とエールを送りました。

おにくるマルシェ

11月24日（月・祝）11:00~16:00 会場：おにくる1階 オープンギャラリー・エントランス広場